

青私幼通信

030-0861 青森市長島二丁目 10-4 ヤマウビル 8階
HP <http://www.aoshiyo.jp>
メール aoshiyo@beach.ocn.ne.jp

令和5年12月4日

—第236号—



一般社団法人青森県私立幼稚園連合会



- 【1】令和5年度青私幼第2回臨時理事会の報告
- 【2】令和5年度 第39回青森県私立幼稚園教員研修大会（八戸大会）の報告
- 【3】第11回新規採用教員研修会の報告
- 【4】令和5年度青私幼園長協議会（理事長・園長合同会）の報告
- 【5】第2回キャリアアップ研修について
- 【6】全日私幼連からのお知らせ
- 【7】諸会議の記録
- 【8】諸会議の記録
- 【9】慶事



[1] 令和5年度青私幼第2回臨時理事会の報告

日 時 令和5年8月4日(金)
会 場 Zoomによるオンライン
次 第

1. 定足数の確認
2. 挨拶
3. 案件
 - (1) 青私幼連合会に加盟していない施設の方の研修会参加について
 - (2) ECEQの謝礼について

[2] 令和5年度 第39回青森県私立幼稚園教員研修大会(八戸大会)の報告

日 時 令和5年8月8日(火)【ハイブリッド形式】
会 場 青森会場:八戸プラザホテル アーバンホール
むつ会場:プラザホテルむつ(会場でのリモート参加)
各園でのリモート参加

テ ー マ 新しい時代を伸びやかに生きる
—社会に開かれた質の高い幼児教育を—

第Ⅰ講座 「ESDの視点で令和時代の保育を考える」
講 師 上垣内 伸子 先生 十文字学園女子大学 教育人文学部
幼児教育学科教授

第Ⅱ講座 「最適な読書環境を考えよう ～認知科学からの考察～」
講 師 柴田 博仁先生 群馬大学 情報学部 教授

参加者人数 350名

[3] 第11回新規採用教員研修会の報告

日 時 令和5年9月9日(土)
会 場 青森県観光物産館
第Ⅰ講座 「大切な一人 ～子どもの人権～」
講 師 小林よう子先生 八戸小中野幼稚園理事長・園長
第Ⅱ講座 ワークショップ 積極的にコミュニケーションを図る
参加者同士で「私たちの今」を語ろう

参加者人数 29名

[4] 令和5年度青私幼稚園長協議会(理事長・園長合同会)の報告

期 日 令和5年10月3日(火)
会 場 ウェディングプラザアラスカ

次 第

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 会務・事業報告
 - (1) 令和6年度園児募集について
 - (2) その他
4. 情報交換と勉強会（グループワーク）
 - グループワーク次第
 - 1) 会長挨拶と趣旨説明
 - 2) 問題提起や事例発表
 - ① 子育ての支援の充実について（担当・板東）
 - ② 人材の確保について（担当・野口）
 - ③ 処遇改善ⅠⅡⅢについて（担当・田頭）
 - ④ 配慮を要する子どもについて（担当・澤田）
 - 3) グループワーク
自己紹介とテーマについて話し合い
 - 4) 発表（各グループ3～5分）
 - 5) 講評（山西会長）
5. 閉会のことば

参加者数 47名

平田浩介副会長・振興経営委員長の司会により始められた。山西幸子会長から6月の東北地区設置者・園長研修会と8月の青私幼教員研修大会（共に八戸開催）のご協力へのお礼の言葉とともに、令和5年度も上半期が終了し、令和6年度に向けていろいろなことが動き始める時期なので、先生方も体調に留意して次に進んでいきたいとのご挨拶があった。

慣例により会長が議長となり、総務委員長が欠席のため、平田副会長・振興経営委員長から会務報告があった。また、会長から今年度から始められた広告協賛についての報告と次年度に向けて、先生方もお声掛けできるのであれば是非お願いしたいとお話が合った。（1）令和6年度園児募集については、要項配付はいつでもよいが、願書受付だけは11月1日以降でお願いするということとなった。

その他について、研修会についての上程事項とECEQ®について、添付資料に沿って山西会長から説明があり、共に総会までにきちんと規約という形で皆様にお示ししたいとお話があった。

その後、認定こども園委員会の行ったアンケートを元にグループワークに入った。

山西会長からの、青森県も知事も変わって、教育界がすごく大きく動いているというの

を感じる。そういった時に先生方が何をどんなふうに望んでいるのか、先生方の忌憚のないお話を出して頂き、ここから先どうやって幼児教育を私たちはしっかりと取り組んでいくのかということ。それに向かっていたいと思っているとのご挨拶された。

田頭初美認定こども園委員長が趣旨説明を行い、認定こども園委員会では新しい形の幼児教育あるいは保育ということも、お互いの悩み事やこれから問題にしていかなければいけないことを話しあい、是非認定こども園委員会で情報交換会をしたいとお話をしたところ、山西会長からこれは認定こども園だけの問題ではなくて、青森県の幼稚園連合会の問題としてみんなで話し合う機会があったらもっといいのではというご提案をいただいた。そこで4つのテーマを設定し青森県私立幼稚園連合会の園運営の実態アンケートとして、取りまとめるという形にさせていただいた。後は分科会の方で縷々お話を進めていただき、大いに不安や不満に思っていることを声に出していただき、お互いにいい情報を投げ掛ける、そんな情報交換会になればと思っていると話された。その後各グループの担当（認定こども園委員）から問題提起の発表があり、それぞれワークに入った。

終了後各グループから報告があり、山西会長の、このように情報交換をすること、お互いの意見を出し合うことはすごく大事なので、今後も続けていきたいと感想をのべられた。最後に準備をしてくださった認定こども園委員会の先生方に感謝のことばをされ、平田副会長の閉会のことばで会を閉じた。

(各グループワークの内容については、別紙参照)

[5] 第2回キャリアアップ研修について

期 日 令和6年1月13日(土)

会 場 八戸プラザホテル本館 並びにZoomによるオンライン

第Ⅰ講座 「教育と法律」～昨今の判例から～(案) カテゴリーA1

講 師 上野 大輔 氏 たいよう総合法律経済事務所 弁護士・弁理士

第Ⅱ講座 子どもの心を育てるアウトドア環境」 カテゴリーB3

講 師 足立 智昭 先生 宮城学院女子大学 教育学部教育学科 教授

※本研修はマネジメント分野となります。

[6] 全日私幼連・研究機構からのお知らせ

全日私幼連並びに幼児教育研究機構からの国からの発令文書等、8月1日(前回)以降にお届けしたものです。(抜粋 以下、各園へのメール送信の日付)

令和5年9月11日

【全日私幼連からのお知らせ】令和6年度 概算要求(幼稚園等)の概要について

- ・2230907①令和6年度_概算要求(幼稚園等)の要求について
- ・230907②令和6年度概算要求(幼児教育課)
- ・230907③令和6年度概算要求(私学助成課)

令和5年9月11日

【全日私幼連からのお知らせ】私立学校法の改正＜寄付行為作成例（都道府県知事所轄学校法人向け）＞

- ・230907私立学校法の改正＜寄付行為作成例（都道府県知事所轄学校法人向け）＞

令和5年9月14日

【全日私幼連からのお知らせ】【事務連絡】子どもの出欠状況に関する情報の確認の再徹底について

- ・230913【参考】【事務連絡】子どもの出欠状況に関する情報の確認の再徹底について

令和5年9月14日

【研究機構からのお知らせ】【事務連絡】技能・経験に応じた追加的な処遇改善（処遇改善等加算Ⅱ）におけるマネジメント分野に係る研修の取扱いについて

- ・230913【事務連絡】技能・経験に応じた追加的な処遇改善（処遇改善等加算Ⅱ）におけるマネジメント分野に係る研修の取扱いについて

令和5年9月19日

【全日私幼連からのお知らせ】20230915【事務連絡】公定価格FAQ等の更新について

- ・230915【事務連絡】公定価格FAQ等の更新について
- ・230915公定価格に関するFAQ（よくある質問）（Ver. 23）
- ・230915処遇改善等加算Ⅱ（よくある質問）（Ver. 7）

令和5年10月16日

【研究機構よりお知らせ】保育者としての資質向上研修俯瞰図の改訂及びそれに伴う研修ハンドブックの改訂について

- ・2.（加盟園宛）保育者としての資質向上研修俯瞰図の改訂及びそれに伴う研修ハンドブックの改訂について
- ・3. 保育者としての資質向上研修俯瞰図
- ・4. 保育者として身に付けたい資質・能力の道しるべ

令和5年10月17日

【全日私幼連からのお知らせ】231016 第2回こども誰でも通園制度（仮称）の検討会の開催について

- ・会議資料等が以下のURLにて閲覧することが出来ます。

<https://www.cfa.go.jp/councils/daredemotsuuen/4kCoTgCi/>

令和5年11月8日

【全日私幼連からのお知らせ】231106 学校における性被害防止対策に係る支援

- ・231106学校における性被害防止対策に係る支援
- ・231106こども・若者性被害防止の緊急対策パッケージの実施の加速化

【全日私幼連からのお知らせ】231106【事務連絡】重点支援地方交付金を活用した保育所・幼稚園・認定こども園等の支援について

・231106【事務連絡】重点支援地方交付金を活用した保育所・幼稚園・認定こども園等の支援について

令和5年11月10日

【全日私幼連からのお知らせ】 231109第3回こども誰でも通園制度（仮称）の検討会の開催について

会議資料等が以下の URL にて閲覧することが出来ます。

<https://www.cfa.go.jp/councils/daredemotsuuen/klj8u1DW/>

令和5年11月13日

【全日私幼連からのお知らせ】 231110【事務連絡】①令和5年度補正予算案について

- ・231110令和5年度補正予算案について（幼児教育課）
- ・231110令和5年度補正予算案について（私学助成課）

【全日私幼連からのお知らせ】 231110【事務連絡】②令和5年度補正予算案について

- ・231110令和5年度補正予算案（学校における性被害防止対策に係る支援/男女共同参画共生社会学習・安全課）
- ・231110令和5年度補正予算案（保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援/子ども家庭庁資料（抜粋））

令和5年11月15日

【全日私幼連からのお知らせ】 231113【事務連絡】私立学校への支援に係る「重点支援地方交付金」の活用について

- ・231113【事務連絡】私立学校への支援に係る「重点支援地方交付金」の活用について

[7] 諸会議の記録

- | | | | |
|-----------|-------------------------------------|---------------------------|-------------------|
| 8月23日（水） | 青私幼第1回教育研究委員会（岡本・棟方・秋元・小林・島守） | 於：Zoom | |
| 8月25日（金） | 令和4年度全日私幼連東北地区教育研修担当者連絡協議会（山西・岡本） | 於：秋田市・キャッスルホテル | |
| 9月13日（水） | 青私幼第2回認定こども園委員会（田頭・野口・澤田・板東） | 於：Zoom | |
| 10月19日（木） | 第37回東北地区教員研修大会（福島大会）運営委員会（山西・木村・平田） | 於：福島 郡山ビューホテルアネックス | |
| 11月6日（月） | 令和5年度中間監査会（山西・木村・平田・齊藤・成田（智）尾崎） | 於：青森市・ヤマウビル | |
| 11月17日（金） | 全日私幼連東北地区政策総務担当者連絡協議会（木村） | 於：ANAクラウンプラザホテル秋田 | |
| 〃 | 〃 | 全日私幼連東北地区経営研究担当者連絡協議会（平田） | 於：ANAクラウンプラザホテル秋田 |

- 11月20日（月） 第1回振興・経営委員会（平田・沼尾・和田・湯沢）
於：青森市・ヤマウビル
- 11月28日（火） 第2回教研委員会（岡本・棟方・秋元・島守・小林）
於：Z o o m
- 12月 4日（月） 第1回総務委員会（木村・敦賀・吉田・成田・佐藤）
於：Z o o m

[8] 諸会議の予定

- ・青私幼第1回常任理事会 令和5年12月7日（木） Z o o m
- ・青私幼第2回理事会 令和6年 2月1日（木） Z o o m
- ・青私幼第2回定時総会 令和6年 3月4日（月）
於：ホテル青森・リモートとのハイブリッド
- ・令和6年度青私幼第1回定時総会 令和6年 5月9日（木）
於：ホテル青森・リモートとのハイブリッド

[9] 慶事

- ・五所川原幼稚園創立60周年記念式典 令和5年10月6日



園運営実態調査とグループワークについて

認定こども園委員会委員長 田頭 初美

平成 27 年に『子ども子育て支援新制度』が始まると、新制度による幼稚園や幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園に移行する園が見られるようになりました。

これまでの私学助成での園運営とは異なり、公的な個人給付を法定代理受領の下で運営するわけですが、法定代理受領の意味するものをしっかりと理解しなくてはなりません。

もともと幼稚園は知事部局、新制度園の所轄は福祉部局と、関係部署が違うことにより、運営上の疑問や理解しづらい事柄が様々露呈しました。

昨年度より認定こども委員会では、まずは子どもたちのためにより良い園の運営を考えていこうと話し合い、園の運営上困っていることや悩み等を整理し、それらを联合会で共有するために園の運営実態調査を行いました。

今年度に入り、委員会では再度運営実態を整理するとともに、声を出して話し合える場の必要性を感じ、この度のグループワークに至りました。

昨年度の運営実態調査から半年という短いスパンでのアンケート調査にもかかわらず、多くの園より回答をいただき、感謝申し上げます。

情報交換会では、論点を整理し、4つのテーマに絞って話し合いを進めてまいりましたが、各分科会の担当がまとめてくださった報告書のとおり、非常に有意義かつ実のある情報交換会になったと思います。

情報交換会を開催するにあたりまして、ご参加くださいまして園長先生はじめ、ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます

皆様のご協力のお陰様で4つのテーマに関しては、青森県私立幼稚園联合会としてのエビデンスベースが整ったと思います。

少子化の波は急加速をしております。これまで以上にしっかりと、園運営の在り方について考えてかなくてはならない時代になりました。

運営実態報告書につきましては今後、各基礎自治体との話し合いや地区会での研修会等にもどんどん活用していただければと思います。

* ①グループワーク テーマ『子育て支援の充実』 話し合いのまとめ *

R5.10.3

◆「子育て支援」を3つの視点から整理すると・・・

①園児数増加を目指す「子育て支援」

体験入園・未就園児教室・情報提供・交流のほか
(幼稚園・認定こども園という場を、子どもにも保護者にも知ってもらうため)

②在園児の「保護者支援」

子育て相談・預かり保育・病(後)児保育・ワンオペ・孤育て(虐待の抑止)対策ほか

③地域における子育て家庭の「保護者支援」

子育て相談・一時預かり保育・ワンオペ・孤育て・虐待防止(+お腹の中にいる時からの支援・情報提供)

◆グループワークでの話し合いの報告

(参加園11園のうち、幼稚園が7園、認定こども園が4園)

自己紹介を兼ねて、各園にとって『子育て支援』とは

上記の①②③のうちどれが主となっているかお話ししていただいた。



*幼稚園は、ほぼ①園児数増加を目指す「子育て支援」を中心に捉えていた。

○悩みとしては、

- ・コロナ禍では支援がなかなかできなかった。またコロナが明けて子育て支援の場を開設してもほぼ来ない状態が続いている。育児相談を受け付けていてもほとんど無い。
- ・市としては出生数があまり変わっていないはずなのに、子育て支援に一人も来なかった。
- ・行政が協力的ではなく、園独自で子育て支援に努めている状況。
- ・お母さんが働いている家庭が多く、3-5歳で入園する人はあまりいない。
- ・コロナが落ち着いて、働き始めたお母さんが増えた。
- ・教育内容よりも、習い事をさせてくれるからと園を選ぶ等、地域を超えて園を見て回る保護者もいる。
- ・土曜日に預かり保育ができないのがネックに。
- ・一時預かりをしているが1歳児などはノウハウが無い。他園では何歳から預かっているのか。 ほか

*幼稚園は、一時預かり保育の他に、

- ・満3歳児の「プレ」(お母さんも幼稚園に入れる準備ができる)を実施している
- ・市に「幼稚園型(Ⅱ)」を申請し許可が下りると、(保育を必要としていなくても。満2歳から)「3号認定」を預かって良い。 などの取組みをしている園もある。

*認定こども園は、①のほかに、②③の支援も行っているとの回答が多かった。取組み例・・・

- ・(サテライト?)街なかに部屋を借りてバス送迎もして無認可保育園を開設。
- ・親子の遊び場や一時預かり保育を、0歳児(生後3ヶ月~)から、各年齢の子どもを対象に行っている。
- ・病気の子を預かることができる施設を作って、病児(病後児)保育を実施。
- ・一時預かり保育の魅力を発信(ポイント制など)。
- ・子育て講座の開設、子育て便りの発行、子育て相談を常時受付けるなど。

*我が子を幼稚園に入れたい(教育を受けさせたい)という保護者も意外と多い?

- ・満3歳児になって保育園から移ってこられるように園の情報を発信(ex幼稚園フェス)
- ・保育園から満3歳になったら転園してこられるよう、入園料や制服などの負担を減らす取組。
- ・市の2歳児健診の場所や妊婦さんの授乳する場所などに、幼稚園の情報を提示。



○参考までに…三沢市では、令和3年『みさわ子どもしあわせ憲章』が制定された。

三沢市の次代を担う子どもたちは、かけがえのない地域の宝物です。

子どもたちが夢と希望を持ち、健やかに育つことは、市民共通の強い願いです。子どもたちの元気な声と笑顔が満ちあふれるまちを目指し、子どもたちを市民みんなで育てていくための指針として

『みさわ子どもしあわせ憲章』を制定します。

子どものちかい

周りに感謝し、みんなで仲良く生活します

- ・強い心と、健康な体をつくれます。
- ・いのちを大切にし、明るく、たくましく生きていきます。
- ・豊かな心と、“ありがとう (Thank you!!)” の気持ちを持ち続けます。
- ・人にはみんな違いがあり、みんなよいところを持っていることを認め、相手を尊重する心を大切にします。

家庭のちかい

子どもの輝ける未来のために、責任を持って子育てします

- ・明るくふれあいのある家庭をつくれます。
- ・子どもの個性を大切にし、たくさんの愛情を注ぎます。
- ・子どもの気持ちや考えを受け止め、よいところを褒めます。

地域のちかい

一人一人が使命感を持ち、地域一丸で子育てをサポートします

- ・子どもたちを見守り、明るいあいさつをかわす地域をつくれます。
- ・子どもたちが安心して集い、自分らしさを出せるような居場所をつくれます。
- ・保護者だけで抱え込まず、困ったことがあれば相談できる地域のつながりを広げます。

○参考：“13項目の子育て支援”について（平成27年1月『地域子ども・子育て支援事業について』より）

- ①利用者支援事業
- ②地域子育て支援拠点事業
- ③妊婦健康診査
- ④乳児家庭全戸訪問事業
- ⑤療育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク事業
- ⑥子育て短期支援事業
- ⑦子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）
- ⑧一時預かり事業
- ⑨延長保育事業
- ⑩病児保育事業
- ⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）
- ⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業
- ⑬多様な主体が本制度に参入することを促進しうるための事業

●グループワークを終えて

この度、先生方と初めて「子育て支援」について情報交換する機会をいただき、お互いに悩みを共有できました。積極的な取組み例など、大変勉強になりました。

また市によっては子育て支援に大変力を入れているところもあり、行政と共に次代を担う子どもの健やかな成長を支える施設として、子どもや保護者を温かく支援していきたいということを話合いました。



令和5年度青私幼 園長協議会

グループテーマ2「人材確保について」

司会 野口 T 発表者 吉田 T

☆「質の向上」について各園行っていると思うが「質」ではなく「量」の話をしましょう！
→「量」がなければ「質」もあげられない！

○業者を使った採用について

失敗談として…

業者をお願いしたが6か月でやめていく（その会社の規約として6か月でやめていいことになっている。）→電話だけのセールスの会社はやめたほうがいい

しかし会社による

「アスカ」さんを使っているが1人採用して長続きしている。
（営業の人がいい人で採用の時も立ち会ってくれた）

業者を使うメリット

- ・「とんでもない人」が来て断りづらいときも業者さんを通して伝えてもらえる。
- ・産休など短期の採用の際も1年等決まった期間で雇用を終了できる。

デメリット

- ・やはり高い（例 月30万円※派遣か採用かで金額は違う）
しかし、雇用保険や退職金財団なども全て込みなのでそんなに高くない…！？
- ・登録している先生で幼稚園が採用してからも業者にお金を払っているのを知らなかった人もいた。

登録している人は

- ・自分で直接ハローワークに行って探すよりも、間に誰かが入ってくれた方が良い。
- ・勤めていても携帯で常に他の採用を検索している。

○養成校より

学生が60人いるうちの15人位は小学校を希望。残りは幼稚園の免許を持っているのに勤めたがらない。なぜ？

① 小規模保育園を希望している子が多い。

行事が嫌。幼稚園は忙しそう。書き物、指導案、ピアノ、オルガンを弾きたくない。
親からのクレームが多い…というイメージ。

- ② 気持ちの（やる気の）ある子程施設の研修に行くと施設に行きたがる。
→でもやめる子も多数。しかし辞めて先生にはならない。

※今の子はお金ではない！

お金よりも自分の時間がほしい。自分のライフワークを守ることが大切。
自分の価値観に合えば長続きする

○学生・新卒の先生について

- ・今の学生は打たれ弱い…SNSでの交流は多いが言葉での交流が希薄
- ・こちらが今の実習生を理解することが難しい。（こちらの常識が常識ではない）
- ・新卒の子はすぐやめてしまい長続きしない子が多い。
若い子の指導には向き不向きがあるので選任が大変。
育てにくく園への思いも薄い。

○幼稚園をアピールすることが大切。

魅力ある園とは何か？教育の尊さをどう伝えれば…？

中学・高校の頃から先生になりたかったか？

小学校の時からキャリア教育が始まっている。そこからアピールする必要がある！

園の環境作りが大事。もう一度来たい園の雰囲気作り。見学会の開催など。

※職員の年齢層が厚いことが大切。色々な年齢の人がたくさんいることで妊娠、介護など助け合える環境にしたい

- ・ハローワークからも来ない…今いる職員の知り合い、知り合いも底をつき…

- ・幼稚園の募集の時期が遅い！？関東は夏にくる。
その年の必要な人材の数が早くにわかりにくい。

※人材＝経営に直結してくる。今いる先生を育てて「辞めさせない」が大切。

退職、ライフステージでの働き方の問題。

130万の壁

ゴールデンタイム以外の人材の確保

令和5年度青森県青私幼稚園長協議会（理事長・園長合同会）

2023.10.3

グループワーク

グループ③ 処遇改善について 14名参加

○資料を基に説明を伺った後、質問に答えて頂きました。

★ 処遇改善 I

Q、算定は正職員のみ該当??

A、1日に6時間以上勤務している職員ならば、園の職員誰でも算定に該当します。

- 処遇改善の仕方として、皆さんに平等にと考えるか、職や能力別にと考えるかは園の判断になります。処遇改善 I II IIIで給与バランスをとることも考えられます。

★ 処遇改善 II

Q、どのくらいの園内研修が対象になる??

A、上限は4時間までです。また、肩書のある講師が必要です。

Q、すでに、職員へ配布してるが、4年度中に研修を終わってなかった人は??

A、間に合わなかった人の分を、教頭や副園長で代替することが可能ですが、ただしそのためには約束事があります。

Q、研修時間について、何とか該当させたいが・・・

(市役所に問い合わせても、担当者 自身が理解していない。)

A、・証明書やスタンプが『時間数』のわかるものであれば研修時間数に入れることが出来ます。(研修スタンプの冊子に時間数があるものは該当します)

・処遇改善 II の配布が難しい人は、処遇改善 I で合わせ、給与のバランスをとる方法がいいと思います。

・基本給やベースアップ、昇給など、給与表を見直しましょう。

・給与規定や賞与規程に、ついては工夫した書き方があります。職員にも理解してもらいましょう。

Q、研修を受けるのは、教員のみ??

A、処遇改善Ⅱは、運転手、調理員、用務員なども対象になるため、研修を受けましょう。

Q、特別保育事業の専任担当者は受けられませんとなっているが・・・??

A、専任で1になっている人は対象外だが、0.7人や0.3人など小数点の配置になっている職員は該当になります。

Q、勤務年数の長い、栄養教諭に処遇改善したい場合??

A、・厨房の副主任リーダーや、厨房の中核リーダーにしたらいかがでしょうか。

同じように運転中核リーダーなど、役職の名前を工夫しましょう。

・同法人内で転勤などがあり、役職名が変わっても、同じ支給が受けられるような場合も役職名を工夫しましょう。

・辞令の他に、職務分担表があるとよいでしょう。

(動植物リーダー・図書リーダーなど etc・・・)

↑

幼児教育分野の研修内での内容によって対応することができます。

Q、マネジメント分野の研修は、経営に携わらない人には関係がないように思いますが・・・

A、マネジメント研修でも、経営に関するだけでなく、保育マネジメントや指導計画の作成などの教育的なマネジメントもありますので、それらをマネジメントとして扱えばいいと思います。

Q、各教職員の研修時間の管理はどうしていますか??

A、・幼稚園ナビを上手く使っています。

・研修ハンドブックの後ろの方に記入するところがあるので、個人で記入してもらっています。

・幼稚園ナビを利用しながら、新規に受講したのものは、**【青森県専用様式】研修受講暦一覧**の白紙のものを全員に渡し、次の提出前に集めてまとめる予定です。



・園と個人とで管理しましょう。

Q、処遇改善Ⅱの研修の研修費はだれが負担しますか? (時間になり途中で話が終了)

・すべて園が負担している・・・5~6園

・すべて個人が負担している・・・4~5園

- ・園と個人と折半・・・・・・・・・・2~3園
- ・園負担の上限有で、残りは個人負担・・・1園

2年目からリーダーの任命は可能なため、支給できます。そのため、1年目に15時間の研修は、クリアしておいた方が安全です。また、役職の任命が変わっても良いように、さまざまな研修を受けられればベストです。

- すでに、60時間をクリアしている人は、研修を受ける必要はありませんが、園として教員の資質の向上を図るのであればコンスタントに研修の機会を作ってあげることがいいと思います。

処遇改善Ⅲ

Q、当初賃上げ金額が1人9,000円だったが・・・

A、今年度は、1人11,000円くらいになっているのではないのでしょうか。

Q、特別保育事業の選任担当者は受けられませんとなっているが・・・??

病児保育も特別保育事業に入りますか??

A、入ります。専任であり配置が1であれば受けられませんが、0.いくつですと受けられます。

令和5年青私幼 園長協議会グループワーク (④配慮を要するこどもについて)

認定こども園富士幼稚園 澤田園長先生の司会にて情報交換を進め、各園の「配慮を要する子ども」の事例や悩み事を、自己紹介を兼ねて提供し合った。

認定こども園油川幼稚園は、「障害のある子をだれでも受け入れてくれる」との保護者の認識と共に、園としても「幼稚園はどんな子どもでも遊び場として受け入れる」スタンスで、様々な子どもとの出会いがあった。油川幼稚園 敦賀園長先生のお話が大変参考になったので、以下のようにご紹介する。

【その子の親がどの「認知程度にいるか」を判断する】

(例)「ひと山超えていない親」→親への支援が大切で必要。

その子がどう困っているか親に伝える。また、参観日でも「ありのまま」の姿を見てもらう。保護者面談も何度か行う。その際「保護者の心を開く技術が必要。

(例)「ふた山こえた親」→療育機関に通いながら園に通う方法等ある事を提案する。職員の学びのために専門の先生をお招きしての勉強会に対象の保護者もお誘いしている。また、園として「この子をどの支援に繋げたら良いか」を考える。

【その子がいるクラス(集団)を育てる】

クラスの子供たちの方がその子を良くわかっていて、支援の必要な子どもも育つ。

ただ、はっきりとした身体的な障害のある子は、周囲の子どもを受け入れられ易いが、アスペルガーの子(相手の気持ちを推し量れない・思った事をすぐに口にしてしまう)の場合は、担任の存在が大きい。

上記の子の「良いところ」を先生が認めて発信して周りの子どもにも伝わるようにすることが大切。何かのきっかけでアスペルガーの子が変わる事もある。

また、アスペルガーの子には「その子なりの正義感」がある。まずは、一度、その子の“正義感”を受け入れてから、こちらの思いを“根気強く”伝えるようにする。その体験を重ねることにより少しずつ「他の正義感」も聞けるようになる。

アスペルガーの子の親も苦労して子育てしてきている。「親支援」も重要。普段からなんでも言える関係作りが大切。これは園長の役割。

診断名は就学前や補助員配置等の申請の時には必要だが、園生活は「診断名がついたから変わる」ものではなく、変わりなく続いていく。

【担任を育てるために】

ミーティングの際に「アスペルガーの子はこういう特徴があるからこういう対応が良いよ」や、担任に「あの子どもはどうしてあのような事をしたと思う？」と問い掛ける。

担任はクラスを育て、支援が必要な子への対応で疲れている。対象の子のお母さんの心を開き、架け橋を作る「コーディネーター」としての役割が園長の仕事。担任だけに背負わせない。

【Q：支援プログラムを個別に作成しているか？という質問】

本来はきめ細やかな計画と記録があれば良いが、現実問題は難しい。しかし、その子の「経過の記録」はとても役立つ。また、日々の計画の中で配慮点を頭に入れ、書いておくことをしている。記録が残っていると小学校へ行くにあたり、橋渡しし易い

・その子の「どこに」注意したら良いか。 そのタイミングで保育室を出ていくのか・また、出ていった見守りを職員皆で行う。

【自由な情報提供 t i m e】

・園外に出ない配慮をしつつも、保育室にずっといられない子は、「教頭等、職員が遠くで」見守っている。とことん動ける時間を保証してあげる。その気持ちをとことん満たしてあげる。周りが固めないで！！それを1学期続けていると探索行動が落ち着く。(この事はきちんと保護者にも伝えた上で)

・「支援が必要な子」と、“フィーリング”が合う大人は担任とは限らない。そういった人間関係を築く事も大切。

・「人に興味を示さない子」が動き回っている時、「ミラーリング法」をしている。彼がクルクル回っていたら、大人もクルクル・・・寝転がったら、同じく寝転がる・・・繰り返しているうちに、彼がこちら（人）に興味を持ち、反対にこちらの動きを真似るようになる。「仲良くなる」方法のひとつ。

・クラスや、周りがやっている内容が楽しければ、「その子」からやって来る。ベテランの教員が「こうあるべき」と、型にはめようとしていて、意外と若手教員が思うようにやっている保育の方が良い事がある。

《感想》

・今回は、「配慮が必要な子」への対応を長年していらした園長先生のお話を基にして、質問があったり、自園の事例を提供したりと、大変学びが多かった。実際に多くの園児の体験をしていらっしゃる園長先生のお話は、心にストンと落ち、心に染みわたった。

クラス担任としての体験は良く聞いてきたが、「園長としての役割」を明示して頂いた今回のグループワークは大変意義深かった。